

平成 25 年 8 月 1 日 8:00 現在
中国地方整備局 災害対策本部

平成 25 年 7 月 28 日 豪雨による中国地方整備局管内の体制及び災害状況等

1. 本部体制

- ・平成 25 年 7 月 28 日 9 時 10 分
災害対策本部（風水害）を設置。注意体制。
- ・平成 25 年 7 月 28 日 11 時 05 分
災害対策本部内に支援連絡室を設置。
- ・平成 25 年 7 月 28 日 12 時 20 分
警戒体制に移行。
- ・各班の状況
河川班は 7 月 28 日 9 時 10 分に注意体制を発令し、以降継続中。
道路班は 7 月 28 日 10 時 28 分に注意体制を発令、13 時 25 分に警戒体制に移行し、以降継続中。

2. 中国管内での気象警報・注意報発令状況

●鳥取県

- ・8 月 1 日 6:12 東部、倉吉、米子地区 大雨洪水警報発令

●島根県

- ・8 月 1 日 6:29 松江地区 大雨洪水警報発令

3. 中国地方整備局管内各事務所、ダム管理所の防災体制状況

●警戒体制以上

- ・中国技術事務所 警戒体制 7 月 28 日 12 時 20 分発令 本部警戒体制に伴う。
- ・山口河川国道事務所（道路） 警戒体制 7 月 28 日 10 時 20 分発令
管内国道で全面通行止め。

●注意体制

- ・上記事務所以外 注意体制発令（7 月 31 日 9 時 00 分）
支部から TEC-FORCE 隊員及び災害対策用車両等の派遣が想定されるため。

4. リエゾン派遣状況

●島根県

- ・益田土木へ 浜田河川国道事務所より 2 名派遣（29 日まで）
- ・島根県庁へ 松江国道事務所より 1 名派遣（29 日まで）

- ・津和野町へ 総務部 1 名、河川部 1 名派遣
- 山口県
 - ・山口県庁へ 山口河川国道事務所より 2 名派遣 (30 日まで)
 - ・萩市へ 出雲河川事務所 1 名、用地部 1 名派遣 (8 月 1 日より)
 - ・山口市へ 岡山国道事務所 1 名、営繕部 1 名派遣 (8 月 1 日より)

5. 中国地方整備局管内各被災状況

●直轄河川

- ・高津川 (神田) 28 日 11 時 40 分に避難判断水位 (5.00) を超過。
ピーク水位 5.45m。
- ・白上川 (内田) 28 日 13 時 40 分に避難判断水位 (3.90) を超過。
ピーク水位 4.11m。
- ・高津川水系白上川南田川水門 排水ポンプ車 (30m³/min) 1 台で 15:00 作業開始。18:10 に休止。21:15 帰還格納。
- ・各河川での巡視の結果、異常なし。

●直轄国道

- ・国道 9 号山口市阿東地福上 (547.4~549.0km) 路面冠水により 28 日 10 時 20 分に通行止め。28 日 19 時 07 分に開放。
- ・国道 9 号益田市神田町三星地内~津和野町日原地内で規制雨量に達したため通行止め。28 日 18 時 00 分に開放。
- ・国道 9 号山口市阿東地福下箇所にて路肩崩壊のため、29 日 12 時 00 分から通行止め。13 時 30 分に片側通行。
30 日 20:00~翌 5:30 路肩崩落部の大型土のう 120/120 袋設置完了。
31 日 8:00~ 路肩崩落部のブルーシート設置及び大型土のう製作開始。
- ・国道 191 号 (127.0~143.0km) で冠水、土砂崩落により 7 月 28 日 11:40 から通行止め。

被災状況は道路冠水 4 箇所、トンネル冠水 2 箇所、土砂崩落 9 箇所、道路崩落 1 箇所、倒木 1 箇所、放置車両 19 台。

国道 191 号道路啓開作業のため、16 時 30 分に山口照明車 2 台を萩国道出張所へ、20 時 00 分に浜田照明車 1 台を萩市須佐地内へ派遣指示し、浜田照明車は 29 日 2 時 00 分に帰還。

29 日 5 時 30 分の状況は、通行止め区間 130.0~135.0k。道路崩落 1 箇所、土砂崩落 2 箇所。その他箇所については、道路啓開 (1 車線確保) または復旧済み。16 時 00 分現在で放置車両 0 台。

30 日 8 時 00 分応急復旧開始。

31 日 8:00 昨日に引き続き伐採、水路内土砂撤去実施。

31日 11:20 近畿地整の照明車1台が萩市須佐の現場に到着。

31日 15:35 中国技術事務所より萩市須佐に向けて対策本部車1台を派遣し、19:05 現地到着。

31日 16:00 伐採完了。水路内土砂撤去中。

8月1日 8:00 現在、水路内の土砂撤去中。完了後、水路部敷鉄板設置及び盛土予定。

●直轄港湾

・被害無し。

● TEC-FORCE 派遣等 29日～

中国地方整備局より

・ヘリコプター上空調査

29日 あいらんど号、きんき号による調査。地整職員7名、島根県職員1名、山口県職員2名搭乗。

30日 あいらんど号による調査 地整職員4名搭乗。

31日 あいらんど号による調査 地整職員2名、島根県職員3名搭乗。

TEC-FORCE 被災状況調査班

【中国地方整備局】

指令班(2班)、河川班、砂防班、道路班、広報班の計6班 23名派遣

29日 8:00 本局災害対策室集合 (防災課より説明、出動準備)

9:00 出発式

11:40 砂防班、広報班 山口国道維持(出)着。情報収集。

11:50 指令班① 山口県庁着 調査箇所棟調整。

11:50 道路班 萩国道(出)着。国道315号道路被災状況確認。

12:20 河川班 山口国道維持(出)着。情報収集。

12:25 指令班② 島根県益田県土整備事務所着。調査箇所等調整。

15:50 指令班①、萩市から道路調査の依頼あり。各班と分担調整。

30日 河川班、砂防班、道路班は萩市の須佐地区の被災状況調査を実施中。

指令班①、②については、引き続き各県、市、地整 TEC-FORCE との調整を実施。

河川班: 10:00 萩市須佐総合事務所で打合せ後、調査開始。被災延長は5km程度。

砂防班: 10:00 萩市須佐地区弥富箇所を調査するが、土石流の発生は見られない。→河川の被災状況調査を実施

道路班: 8:30 出張所集合。県より敷地調査結果内容を県より入手し、10:

25から国道315号を調査実施。応急復旧方法検討、概算額算出指令班①：17：00から津和野町で支援内容打合について町建設課、リエゾン、近畿TEC指令班と打合せを行う。

31日 河川班、砂防班

8：00から萩市須佐地区の河川被災状況調査を実施。

道路班

県道宇田須佐線の啓開状況調査実施

国道315号概算額算出作業

8月1日 河川班：萩市須佐総合事務所管内の河川被害状況調査を予定。
砂防班：萩市須佐総合事務所管内の河川被害状況調査を予定。
道路班：萩市須佐（唐津）地区の国道315号関係の被害状況調査を予定。
第2陣として、河川班（5班）、砂防班、道路班（4班）、広報班の計11班43名を派遣（増強）。（9：00本局出発）
現地到着後、先遣の指令班①②と調査箇所等について打合せ予定。

【近畿地方整備局】

・TEC-FORCE 被災状況調査班、応急対策班等

7班 全26名。照明車5台、対策本部車1台

29日11：00 中国道安富PAに集合。

17：00 島根県益田県土整備事務所に到着。災害対策会議参加。

30日 9：30 高津川の直轄境から本川上流へ向け、被災状況調査に着手（5班体制）。

31日 指揮班・津和野町役場日原第2庁舎において、現地調査に入る前の調整を行う（調査箇所確認・台帳・図面等の受け取り）

8：50 津和野土木事業所に集合し、昨日の調査進捗状況等について打合せ・打ち合わせ終了後

河川2班は高津川での残調査を実施

その他4班（道路1,2,3班、河川1班（砂防班含む））

は津和野町役場日原第二庁舎に集合し、打ち合わせ後、現地調査に着手

12：30 道路班が津和野町所管の道路102.5km、河川14.8kmの調査開始。

8月1日 河川班：高津川上流の津和野町木部地区の調査予定。

道路班：津和野町畑迫箇所の調査、津和野・小川地区の調査予定。

機械班：国道191号 萩市須佐で照明車稼働を7月31日19:30
～8月1日夜明けまで稼働。

【四国地方整備局】

- TEC-FORCE 被災状況調査班、応急対策班等派
6班 全25名。
29日14:00 四国本局発。
17:25 中国地方整備局到着。本部にて打合せ。
30日 7:00 山口県庁、萩市むつみ総合事務所、同市須佐総合事務所
へ向け出発。
9:15～ 県庁で打合せ。各出先事務所で打合せ。
10:40 道路班調査開始。特に道路班は、(県より早く応急復旧
をまとめてほしいとの要望を受けており、)日没間近まで
しっかり、現地調査を行うとのこと。
11:15 河川班、砂防班調査開始。
31日 道路班1:萩市むつみ地区 現地調査及び資料整理(災害概要調
査)
道路班2:萩市須佐地区 現地調査及び資料整理(災害概要調査)
河川班、砂防班:萩市むつみ地区 現地調査及び資料整理(災害
概要調査)
広報班:現地調査班に随行
総合指令班:山口県庁にてTEC支援
8月1日 道路班1:萩市弥富地区の現地調査及び資料整理(災害概要調査)
道路班2:萩市須佐地区の現地調査及び資料整理(災害概要調査)
河川班、砂防班:萩市むつみ地区資料整理(災害概要調査)
広報班:現地調査班(萩市須佐、弥富地区を予定)に随行
総合指令班:山口県庁にてTEC-FORCE支援

【九州地方整備局】

- TEC-FORCE 被災状況調査班、応急対策班等
9班 全36名。照明車2台、排水ポンプ車2台、衛星通信車1台、ku-SAT
1台、待機支援車1台
→8班 全34名。衛星通信車1台、ku-SAT1台、待機支援車1台
29日10:35 九州本局発。
13:15 山口河川国道へ到着。

排水ポンプ車2台、待機支援車1台は防府国道維持（出）へ移動。照明車1台は萩国道（出）へ。照明車1台山口国道維持（出）へ。

20:30 衛星通信車1台を萩市須佐箇所稼働開始。継続稼働中。

20:15 照明車1台を山口市阿東町に派遣し23:05まで稼働。

30日 9:00 萩市の田万川地区等の被災状況調査実施予定。

県道332号、県道14号、萩市田万川支所の周辺と大きくは3箇所活動開始。

31日 河川班②：県道14号 高岩橋の仮復旧工法の検討、成果品引き渡し予定。

道路班②：県道332号 十種ヶ峰の復旧工法の検討、成果品引き渡し予定。

河川班①、道路班①③、砂防班：萩市田万川総合事務所 管内の被災箇所調査を継続。

情報通信班：国道191号 萩市須佐で衛星通信車稼働を継続。

14:00 九州地整からの排水ポンプ車2台、照明車2台の帰還を決定。

→18:40排水ポンプ2台、19:40照明車2台を九州地整（九州技術事務所）に帰還。

8月1日 ・河川班②：県道14号成果品引き渡し予定。その後、萩市田万川総合事務所管内の被災箇所調査に合流。

・道路班②：県道332号の復旧工法の成果品引き渡し予定。その後、萩市田万川総合事務所管内の被災箇所調査に合流。

・河川班①、道路班①③、砂防班：萩市田万川総合事務所管内の被災箇所調査継続。

・情報通信班：国道191号 萩市須佐で衛星通信車稼働を継続。



近畿地整 TEC (7/30 高津川調査)



近畿地整 TEC (7/30 高津川調査)



中国地整 TEC (7/31 津和野町打合せ)



中国地整 TEC (7/31 道路班調査)



中国地整 TEC (7/31 砂防班調査)



中国地整 TEC (7/31 砂防班調査)